

令和3年度 第2回岡山市都市・消防政策審議会

と き 令和3年11月9日（火） 14:00～15:30

ところ 岡山市勤労者福祉センター 4階 第2中会議室

出席者委員 延味会長、元家副会長、氏原委員、勝矢委員、齋藤（美）委員、  
嶋田委員、田邊委員、八百板委員

岡山市 林都市整備局長、平澤都市・交通・公園担当局長、中西都市整備局次長、  
桐野都市整備局参事監、戸田住宅課長、横山市街地整備課長  
事務局：都市企画総務課

○議 事

岡山市住生活基本計画の改定について

標記の件について、資料を基に説明。

○意見等

（意見） [1. 1 計画策定の目的]

計画策定の目的が不明瞭な表現となっている。

（回答） 再考し、目的が明瞭となるよう記載する。

（意見） [3. 1 人口・世帯の動向]

マイノリティーに対して様々なニーズに対応するということが目標に掲げられているので、外国人や障害者の数のデータを加えてはどうか。

（回答） データの有無を含め調査し、追加について検討する。

（意見） [8. 2 基本目標【目標6】災害等に備えた安全な居住環境の実現]

「…地域における共助の取り組み…」とあるが、「自助」の要素もあるはずなので、「共助」の前に「自助」を追加してはどうか。

（回答） 「自助」の追加を検討する。

（意見） [9. 2 基本施策【目標6】(1)安全な住宅及び住環境の形成]

「止水板設置補助」「雨水流出抑制施設設置補助（雨水貯留タンク）」について、具体的施策例に記載してはどうか。

（回答） 記載について検討する。

○審議結果 岡山市住生活基本計画の素案内容について承認とする。

○議 事

大供周辺土地区画整理事業の事後評価について

標記の件について、資料を基に説明。

○意見等

（意見） 費用便益分析の便益はどのようにして算出するのか。また、費用はいくらか。

（回答） 区画整理を実施した場合としなかった場合の地価の差を便益として計算している。費用は49億円かかっているが、事業が長期化したことで現在価値に換算すると115億円となり、それに対して便益が133億円となっている。

（意見） 事業実施過程の問題点等に、「同意を得るまでに相当の時間を要した」とあるが、一般的に区画整理事業は長期化するものという認識が

ある中で、許容範囲であればここまで書かなくてもよいと思う。

(回答) できるだけ短い期間で事業を完了することを目指していたが、結果、時間を要した。本地区だけでなく、他地区の区画整理事業でも長い時間を要している。

(意見) 資産価値が1%しか増えていないが、他地区の状況は。

(回答) 同時期に実施されていた西部第4地区の事業でも3%増である。バブル崩壊の影響を受けて地価が低迷していたので、あまり増えていない。

(意見) 今後区画整理事業を実施することがあれば、事前のアンケートを実施し、事前・事後で直接比較すれば説得力が増すと思う。

(回答) 今後の検討課題とする。

○審議結果 大供周辺土地区画整理事業の事後評価内容について承認とする。

(以下余白)